

2017 年度 事業報告書

フェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ) では、国内におけるフェアトレードの認知向上と、認証製品の市場拡大にあたり、「市民」「企業」「教育」「行政」といった四つの分野・領域に対して普及活動に取り組んだ。また、継続課題である組織基盤強化では、社会から、より信頼・支持される組織運営を目指すため、認定 NPO 法人化に向けた組織支援者の獲得にも注力した。

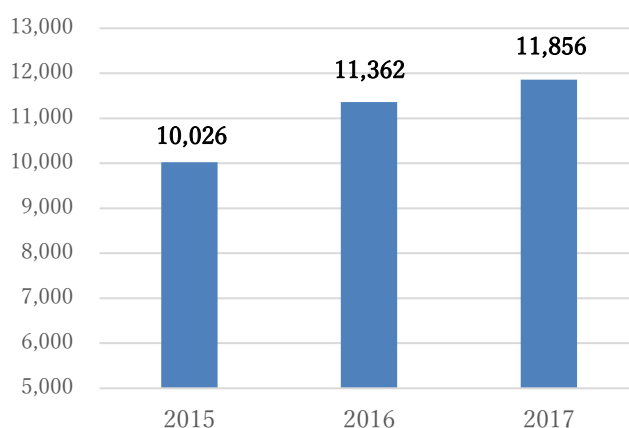
今後も、日本での飛躍的なフェアトレード認証製品市場拡大に向け、引き続きステークホルダーとの連携を通じ、取組みを強化していく。

1. フェアトレード認証製品市場

2017 年(1 月～12 月)国内の国際フェアトレード認証製品市場規模は推定で 118 億 5600 万円

(対前年比 104.5%)。社内勉強会の実施や企業間連携の促進を積極的に展開した結果、新規認証取得事業者の増加と市場拡大に繋がった。特に、エシカルファッションやサプライチェーン上の人権課題への関心の高まりを受け、繊維(コットン)業界からの新規参入企業が増えている。また主要製品のコーヒー、カカオ、茶、コットンに加え、バナナや砂糖(アイスクリーム・ジャム)も拡大傾向である。

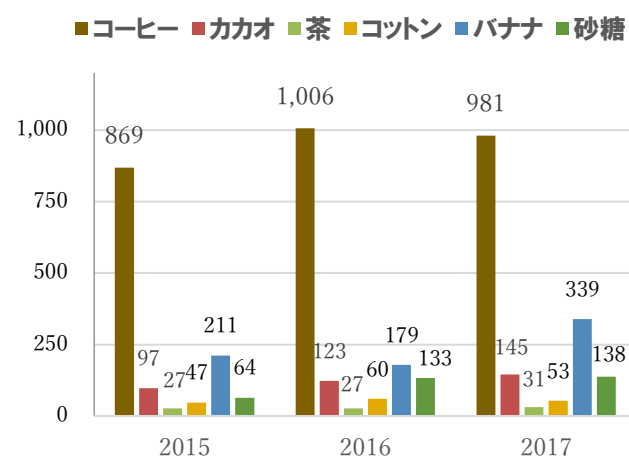
国内の国際フェアトレード認証製品
推定市場規模推移(単位:百万円)



<2017 年度 新規認証取得実績>

産品	組織数	製品数
繊維(コットン)	6	86
コーヒー	4	39
スパイス・ハーブ	0	27
紅茶	1	9
生鮮果物(バナナ)	1	4
オイルシード・油脂果実	0	4
サトウキビ糖	2	3
カカオ	1	3
花	1	0
合計	15 (※1)	175

国際フェアトレード認証産品
国内販売数量推移(単位:トン)



<フェアトレード認証参加組織数 (※2)>

2018 年 3 月 31 日現在: 合計 190 (前年度対比 106%)

(※1) 2 産品の認証を取得した組織があったため、新規認証取得組織数としては 15

(※2) FLJ 認証組織(輸入、製造、卸、ライセンス)、FLOCERT 認証組織、製造受託組織、海外完成品輸入組織等

フェアトレード・ラベル・ジャパン活動実績(2017年度)			
 市民 セミナー講演、ワークショップ、広報物配布などを通じて、フェアトレードを求める声を増やします。 セミナー講演・広報物提供 年間40件以上	 FAIRTRADE JAPAN	 教育 学校での授業等を通じ、先生や学生、その家族のフェアトレードを求める声を増やします。 出張授業・講義・教材提供 年間80件以上	
 企業 生産者との交流機会を作ったり、社内セミナーを通じて、企業の認証製品発売を促進します。 セミナー・勉強会 年間100件以上		 行政 消費者教育への協力や提言活動を通じ、公共調達等でのフェアトレード採用を促進します。 教材制作協力・教材提供 年間50件以上	

2. 普及啓発事業

<企業>

ステークホルダーとのコミュニケーション促進・ネットワーク構築

フェアトレードへの理解を深め、国際フェアトレード認証のしくみや基準、そのインパクト、企業や団体が積極的にフェアトレードへ取り組む意義などを伝えるため、年間を通じて企業でのフェアトレード勉強会やビジネスセミナーなどを実施。その結果、フェアトレード認証製品の販売促進等に繋がっている。

● 第10回ステークホルダー会合開催 (7月12日)

国際フェアトレード認証製品取扱い企業・団体や認証参加を検討中の方々が一堂に会する場として、2007年から継続して年に一度開催している「ステークホルダー会合」。58社、101名の参加を得て第10回目の会合を2017年7月12日に開催。



ゲストスピーカーに、公益財団法人消費者教育支援センターの柿野成美氏をお招きし、行政の消費者教育におけるフェアトレードの広がりについてご講演いただいた。また、参加企業による事例発表では、フェアトレードに取り組む理由や販売促進への施策を共有しながら、今後のフェアトレード普及活動に向けた情報交換を行った。

* 会合の様子は、YouTubeでも視聴可能 <https://www.youtube.com/user/FairtradeLabelJapan>

● 企業間連携の促進

CSRの一環で、社内で消費する飲料や製品をフェアトレード認証に切り替える動きをさらに広げていくため、すでに取り組みを強化している企業各社との連携促進を強化。結果、新たな大手企業でのフェアトレード認証製品の採用が加速している。



企業間連携で開催したCSRセミナーの様子(11月16日)

● ビジネスセミナー「フェアトレード・コットンセミナー」開催 (12月7日)

近年、国内外で企業・行政によるサステナブルなコットン調達への注目が高まる中、前年度に引き続き、コットンをテーマにビジネスセミナーを開催。繊維業界、ファッションビジネスに従事する方々を中心に、21社・32名が参加。ゲストスピーカーにファッションビジネス専門誌、織研新聞社 事業局次長の中村善春氏をお招きし、「サステナブル調達に向けたファッションブランド、繊維企業における世界の潮流」と題してご講演いただいた。また、今回は地方自治体にも本セミナー参加を呼びかけ、企業と行政との交流の機会を作った。今後、行政職員のユニフォームへのフェアトレード認証コットン採用などに繋がる事が期待される。

● 生産者との連携強化

FLJが国内企業とフェアトレードへ参加する生産者との橋渡し役を果たせるよう、アジア、アフリカ、ラテンアメリカのフェアトレード認証生産者ネットワーク組織との連携を強化。9月20日～22日に開催されたアジア最大のスペシャルティコーヒーの展示会「SCAJ2017」会期中、各国のフェアトレードコーヒー生産者と日本企業との交流会を開催し、フェアトレードの意義・効果への理解促進を図った。



● セミナー・シンポジウム等での講演 (以下、主な講演実績)

- ・ CSR&コンプライアンス国際フォーラム (5月18日)
- ・ カフェ・喫茶ショー2017 (6月8日)
- ・ サステナビリティ経営ネットワーク研究会 (9月8日)
- ・ サステナブル・ブランド国際会議 2018 東京 (3月2日)

<市民>

自主事業のみならず、理念を共有する団体や学生グループとの連携等を通じ、フェアトレードへの理解促進ならびに、フェアトレード認証製品の積極的な選択を呼びかけた。

● 主な活動

- ・ メディア取材対応 (年間計66媒体: テレビ1、ラジオ2、新聞14、雑誌8、その他41)
- ・ セミナー・シンポジウム等での講演
- ・ 「フェアトレード月間」情報発信強化 (5月)
- ・ ウェブサイト、ソーシャルメディアを活用した情報発信
- ・ ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo への参加
- ・ フェアトレード学生ネットワーク (FTSN) や学生サークルとの連携・協力



報道番組「ウェークアップぶらす」ステークホルダー会合取材 (7月29日放送)

<教育>

小学校の副教材や中学校・高校の英語、社会科、家庭科等の教科書でのフェアトレード紹介および国際フェアトレード認証ラベル掲載への協力や、フェアトレード普及に積極的な学校との連携を深めていくことで、フェアトレード普及に向けたアクションの促進を図った。

- ・ 授業・講義・教材提供での協力：年間 80 件以上



中南米のコーヒー生産者 4 名と玉川聖学院
を訪問し生徒たちと交流を図った。(9/21)

<行政>

行政主導による消費者教育教材や消費者キャンペーン・イベントを通して、フェアトレードならびにフェアトレード認証ラベルの認知向上を図れるよう、協力・連携を図った。

- ・ 教材制作協力・イベント協力： 年間 50 件以上
- ・ 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」への協賛 (1/12-2/11)
- ・ 東京都消費生活総合センター主催「フェアトレードを体験してみよう」ワークショップ (2月16日)



フェアトレードって知っていますか？

浜松市企画による高校生向け
動画教材への資料提供協力

<フェアトレードタウン関連への協力（講演、資料提供など）>

熊本市、名古屋市、逗子市に次いで、2017 年 11 月には浜松市も日本で 4 番目のフェアトレードタウン認定を受けるなど、全国各地でフェアトレードタウンを目指す動きが活発になってきている。フェアトレードタウン運動は、市民にフェアトレードへの参加を促す上で重要な役割を果たすものであり、FLJ としても地域の推進グループや教育機関・地方自治体との連携・協力を進めている。

- ・ 名古屋：世界フェアトレードデーイベント「コーヒーサミット」広報物提供協力 (5月13日)
- ・ 千葉市：フェアトレードフェスタちばへの資料提供 (5月28日)
- ・ 徳島県：第1回エシカルパーティ in 徳島トークセッション登壇 (7月9日)
- ・ 浜松市：フェアトレード全国フォーラム (11月19日)、浜松エシカル消費ミーティング (1月26日)
- ・ 木更津：「オーガニックシティフェスティバル 2017」での講演 (11月26日)
- ・ 四国：JICA 四国助成事業「NGO×企業等 四国フェアトレード商品開発研修」講演 (2月4日)

3. ネットワーキング・連携活動

3-1 国内団体との連携・ネットワーク参加

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ●一般社団法人 日本エシカル推進協議会 | -会員 |
| ●特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) | -正会員 |
| ●一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) | -正会員 |
| ●なんとかしなきゃ！プロジェクト | -メンバー団体 |

3-2 Fairtrade International ネットワーク関係

- アジア太平洋地域メンバー会議出席 (4月11日 @シンガポール)
- FI 年次総会出席 (6月29-30日@ドイツ・ボン)

- FI メンバー事務局長会議出席（6月26-28日@ドイツ・ボン、他7・10・12・3月オンライン会議）
- FI コーヒーチーム（GPM）会議出席（11月9-10日@韓国・ソウル）
- FI 認証ライセンス会議出席（2月20日@パリ）

4. 認証・ライセンス事業

4-1 フェアトレード認証・監査業務

<本年度の監査実施件数>

監査の種類	件数
初回監査	6
更新監査	6
中間監査（※3）	18
確認審査（※4）	5
非通知監査	1
合計	36

<認証判定結果>

監査の種類	件数
認証一時停止の警告（※5）	3
認証一時停止（※5）	1
認証取得・更新・継続	36

（※3）中間監査には、実地で行う場合と書類で行う場合とがある。

（※4）小規模ライセンシー、ピュアライセンシーを対象に契約締結日より3年以内に実施。原則書類監査。

（※5）「認証一時停止の警告」「認証一時停止」が出された認証事業者はその後すべて是正措置が確認され、認証が更新・継続された。

監査で確認された不適合項目は、前年度同様、取引先とのフェアトレード基準遵守に関する書面締結不足や、売買関係書類へのフェアトレード関連項目の記載漏れ、四半期報告書提出の遅延だった。継続して事業者への基準遵守の指導を徹底していく。

4-2 内部監査の実施（12月26日）

FLJの認証監査事業が、ISEAL(International Social and Environmental Accreditation and Labelling)が定める Assurance Code(監査認証プロセスに関する基準)、ならびに ISO17065(製品認証機関の認定)に従って、適切に運用されているか、内部監査を実施。監査から認証判定までの一連の業務が、適切に滞りなく行われていることが確認された。

5. FLJ 組織運営

より多くの人たちにフェアトレードを応援いただくためにも、組織の基盤強化を継続的に進めている。認定NPO法人化を目指し、2015・2016・2017年度と支援者獲得に取り組んできた結果、幅広い世代や職業の方々、累計313名からご支援をいただいた（2018年6月認定取得決定済み）。

また、働きやすい環境整備によるスタッフのワークモチベーション向上を目指し、テレワークを本格導入した。

●FLJ 組織体制 (2018 年 3 月 31 日現在)

- ・正会員： 個人会員 16、団体会員 2
- ・支援者： サポーター83 名、Web 登録メンバー579 名

- ・役員： 理事 5 名、監事 2 名
- ・事務局： 常勤 4 名、非常勤 3 名、学生インターン 2 名

● 通常総会開催

日時： 2017 年 6 月 24 日 (土) 14:00~16:00 場所： FLJ 事務所

議題：議決事項 (第 1 号議案) 2016 年度 決算に関する事項
(第 2 号議案) 2016 年度 事業に関する事項
(第 3 号議案) 監事選出
(第 4 号議案) 定款改定に関する事項

報告事項 (1) 2017 年度予算・事業計画
(2) 理事選任

● 理事会運営

- ・第 1 回： 2017 年 6 月 24 日 (土) 10:00~12:30
2016 年度決算・事業報告書、2017 年度予算案・事業計画案、役員再任、定款変更など
- ・中期ビジョンミーティング： 2017 年 9 月 6 日 (水)・7 日 (木)
組織課題、中期経営計画など
- ・第 2 回： 2017 年 12 月 2 日 (土) 13:00~17:00
収支進捗報告・活動報告、サポーター関係構築、組織運営の改善、中期経営計画など
- ・第 3 回： 2018 年 3 月 3 日 (土) 13:00~16:30
2017 年度収支見込、2018 年度予算案・事業戦略、中期計画の方向性、認定 NPO 法人化など